

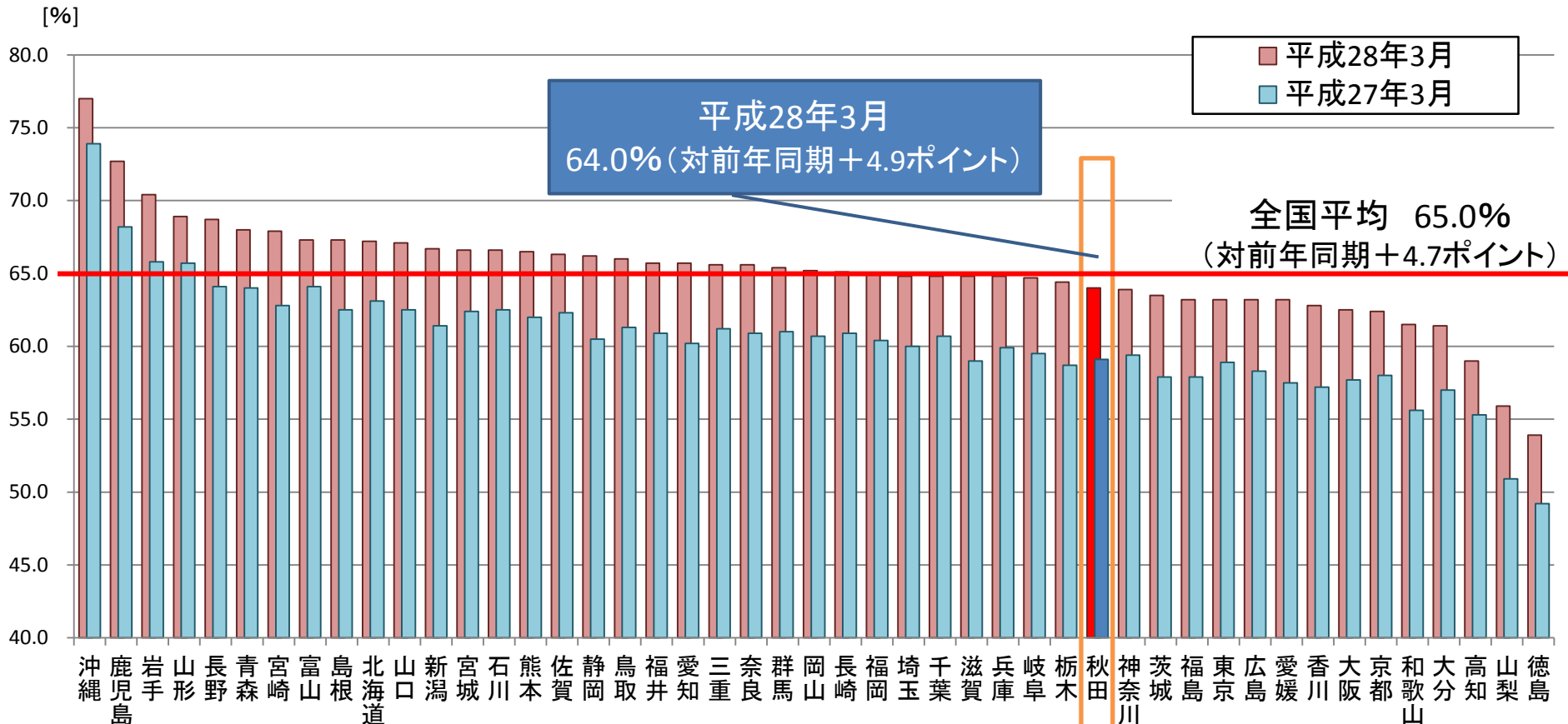
ジェネリック医薬品軽減額通知 サービスについて

ジェネリック医薬品使用割合の比較

(平成28年3月調剤分・数量ベース：新指標)

〈国の方針〉ジェネリック医薬品に係る数量シェアの目標値については、

- ・2017年(平成29年)央に70%以上
- ・2018年度(平成30年度)から2020年度(平成32年度)末までの間のなるべく早い時期に80%以上



ジェネリック医薬品軽減額通知サービス

ジェネリック医薬品に切り替えた場合に、お薬代の負担軽減が一定額以上見込まれる方に、1ヶ月分の自己負担額軽減可能額等をお知らせするものです。

協会けんぽでは、

①加入者の皆さまのお薬代の負担軽減が図られる

②健康保険財政の改善にもつながることから

「ジェネリック医薬品」の普及を推進しており、その取組みの一環として、ジェネリック医薬品軽減額通知を実施しています。

※ この通知サービスは、ジェネリック医薬品への変更を強制するものではありません。ジェネリック医薬品を知ってもらうこと、先発医薬品以外にもジェネリック医薬品という選択肢があることをお知らせする目的で送付しています。

※ 使用できる病気（効能）が異なるときや在庫がないなどの理由で、ジェネリック医薬品に切り替えることができない場合もあります。

ジェネリック医薬品軽減額通知サービス

※ 対象者

- (1) 主に慢性疾患(喘息、リウマチ等)などの先発医薬品を長期間服用されている方
- (2) お薬代の自己負担軽減額が一定額以上見込まれる方
 医科:600円以上 調剤:100円以上 (予定)
- (3) 20歳以上の方

※ 実施時期

- 1回目:平成28年8月頃
- 2回目:平成29年2月頃

※ 実施件数

- 1回目:300万件(予定)
- 2回目:300万件(予定)
- 合計:600万件(予定)

※ 送付物

- (1) 通知書
- (2) 案内リーフレット
 年齢・性別によって内容を変更する予定
- (3) ジェネリック医薬品希望シール

(平成27年度2回目通知 リーフレットサンプル)

花粉症のお薬にもジェネリック医薬品があります。

花粉症の方にはもっともつらい季節がやってきました。花粉症は内服薬・点鼻薬・点眼薬、複数のお薬を使用することがあり、その分お薬代も高くなります。花粉症の症状を緩和するためのお薬代は、**ジェネリック医薬品**を使用することで軽減できます。是非ご確認ください。

〈花粉症治療〉先発医薬品とジェネリック医薬品のお薬代比較例

よく使われる「飲み薬」の一例	よく使われる「点眼薬」の一例
1日2回の点眼・2週間分を処方された場合は… 先発医薬品 約590円 ジェネリック医薬品 約340円 約 250円 オトク!	1日4回の点眼・2週間分を処方された場合は… 先発医薬品 約430円 ジェネリック医薬品 約310円 約 120円 オトク!

※上記はお薬代のみのお金額(3割負担)の一割です。実際に医療機関や薬局へお支払になる金額には、お薬代以外の診察や調剤等に要する費用が加算されます。

ジェネリック医薬品に関する「お知らせ」の見方

見本 平成27年10月分の処方箋のうち、以下の医薬品をジェネリック医薬品に切り替えた場合のお薬代の軽減可能額に関するお知らせ

平成27年10月分の処方箋のうち、以下の医薬品をジェネリック医薬品に切り替えた場合、お薬代の軽減可能額は**850円**～です。

この情報は、平成27年10月9日の処方箋をもとに、処方された医薬品(先発医薬品)と、生薬成分が同一のジェネリック医薬品に切り替えることで軽減できるお薬代をご紹介しています。

明 細	平成27年10月分の処方箋実績	ジェネリック医薬品に切り替えることで軽減できるお薬代
医療機関・薬局区分	先発医薬品実数	ジェネリック医薬品実数
調剤		
OO錠1mg	500	360
OO錠5mg	200	130
OO錠10mg	150	30
OO錠1mg	40	20
OO錠5mg	60	20
その他(ジェネリック実数)	90	
小計	1,000	590
薬局		
OO錠10mg	400	290
その他(ジェネリック実数)	30	
小計	430	290
合計	1,510	850

※お薬代以外の診察等に要する費用は含まれていません。

1ヶ月にかかったお薬代を記載しています。※お薬代以外の診察等に要する費用は含まれていません。

ご質問ご相談 サポートデスクへお問合せください

0120-124-600 (FAX:0120-124-602) 受付時間 8:30~17:15 (土・日・祝日含む)

●お問合せには「お問合せ番号」が必要です。「お知らせ」をお手元にてご確認ください。
 ●今後「お知らせ」が不要の方は、お手数ですが左記の番号に電話またはFAXにてご連絡ください。
 ●FAXによる不要連絡は「お知らせ」のあてが印字された際の余白に「通知不要」とご記入のうえお送りください。
 ●サポートデスクは、平成28年4月30日で終了となります。以後は届け付けへご連絡ください。

ジェネリック医薬品軽減額通知サービスの軽減効果額

全国		実施月	通知対象者	軽減効果人数 (切替率)	軽減額/月	年間効果額 ※単純推計	コスト
21年度	☞ 40歳以上の加入者 ☞ 軽減効果額200円以上		約145万人	約38万人 (26.2%)	約5.8億円	約69.6億円	約7.5億円
22年度	☞ 35歳以上の加入者 ☞ 軽減効果額300円以上		約55万人	約11万人 (21.5%)	約1.4億円	約16.8億円	約4.7億円
23年度	☞ 35歳以上の加入者 ☞ 軽減効果額300円以上		約84万人	約20万人 (23.3%)	約2.5億円	約39.3億円	約5.0億円
			約21万人	約5万人 (25.4%)	約0.8億円		
24年度	☞ 35歳以上の加入者 ☞ 軽減効果額は医科400円以上、 調剤200円(2回目は400円)以上		約96万人	約24万人 (25.1%)	約3.1億円	約48.0億円	約4.8億円
			約27万人	約7万人 (24.9%)	約0.9億円		
25年度	☞ 35歳以上の加入者 ☞ 軽減効果額は医科400円以上、 調剤250円(2回目は400円)以上		約134万人	約32万人 (24.0%)	約4.4億円	約83.1億円	約2.4億円
			約50万人	約15万人 (29.0%)	約2.5億円		
26年度	☞ 35歳以上の加入者 ☞ 軽減効果額は医科600円以上、 調剤150円以上		約166万人	約46万人 (28.0%)	約7.0億円	約157.7億円	約3.9億円
			約163万人	約42万人 (25.7%)	約6.1億円		
27年度	☞ 35歳以上の加入者 ☞ 軽減効果額は医科600円以上、 調剤100円以上		約180万人	約50万人 (28.0%)	約7.2億円	約87.1億円	—
			約194万人	—	—		
累計 (26年度まで)			約942万人	約241万人 (25.6%)	約34.5億円	約414億円	約28.3億円

ジェネリック医薬品軽減額通知サービスの軽減効果額

秋田		実施月	通知対象者	軽減効果人数 (切替率)	切替者一人当たり 効果額/月	年間効果額 ※単純推計
21年度	☞40歳以上の加入者 ☞軽減効果額200円以上		23,423人	4,564人 (19.5%)	1,402円	約7,600万円
22年度	☞35歳以上の加入者 ☞軽減効果額300円以上		7,078人	1,385人 (19.6%)	1,269円	約2,100万円
23年度	☞35歳以上の加入者 ☞軽減効果額300円以上		11,748人	2,474人 (21.1%)	1,283円	約6,600万円
			6,101人	1,530人 (25.1%)	1,564円	
24年度	☞35歳以上の加入者 ☞軽減効果額は医科400円以上、 調剤200円(2回目は400円)以上		13,891人	3,201人 (23.0%)	1,461円	約7,100万円
			4,070人	947人 (23.3%)	1,337円	
25年度	☞35歳以上の加入者 ☞軽減効果額は医科400円以上、 調剤250円(2回目は400円)以上		18,718人	4,372人 (23.4%)	1,453円	約1億2,000万円
			6,965人	2,036人 (29.2%)	1,823円	
26年度	☞35歳以上の加入者 ☞軽減効果額は医科600円以上、 調剤150円以上		22,495人	6,449人 (28.7%)	1,751円	約2億3,600万円
			22,302人	5,569人 (25.0%)	1,510円	
27年度	☞35歳以上の加入者 ☞軽減効果額は医科600円以上、 調剤100円以上		22,919人	6,282人 (27.4%)	1,570円	約1億1800万円
			24,777人	—	—	
累計 (26年度まで)			136,791人	32,527人 (23.8%)	1,520円	約5億9,000万円

※軽減額通知は協会けんぽ本部一括発送のため、秋田支部単独のコストは算出不可